

外部支援機関とも連携した事業者支援の組織的取組

■ 「ミドルリスク・ミドルリターン」戦略の下、地域最後の貸し手としての役割を意識し、多様な外部機関と連携しながら、地域事業者の課題解決に取り組んでいる。

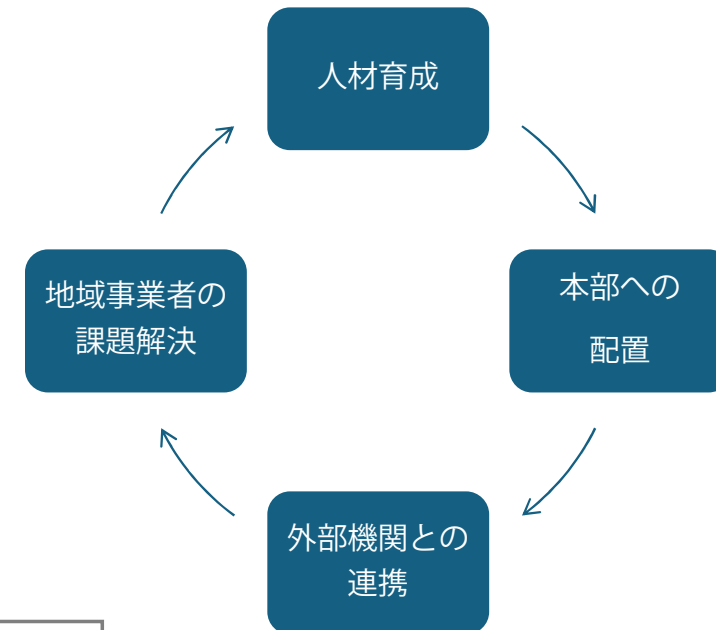
【取組の背景】

経営陣は、**相互扶助**の考えの下、中小零細企業との深い関わりを持ち、地域に根差す信用組合として、地域の産業や雇用を支えていきたいという強い意志で取引先企業の実態に即した抜本的な支援方針を検討している



【取組概要】

- ・ 令和4年度以降、広島県中小企業活性化協議会（以下、活性協）へのトレーニーの出向や中小企業診断士講座への職員派遣などを通して、事業者支援に係る人材を育成
- ・ 本部に中小企業診断士資格保有者のほか、活性協への出向経験者等を配置して、事業者支援の体制を整備
- ・ 支援先として経営支援先及び集中管理先を毎年を選定し、集中管理先は本部担当者が取引先へ直接訪問のうえ、課題を抽出、取引先と共有し課題解決を図る
- ・ 経営支援先及び集中管理先に懸念事項が発生した際には、案件に応じて融資審議会に諮り、対応方針を決定し、本部担当者が外部機関及び営業店担当者の調整役となり、管理を行っている
- ・ 組合だけでは解決できない問題については、外部機関と連携し、課題解決に取り組んでいるほか、中小企業診断士と顧問契約を締結し、取引先企業への派遣も行っている



【外部機関と連携した取組の事例】

- **活性協**を積極的に活用し、計画策定等を支援
- **広島県事業承継・引継ぎセンター**の活用
- **REVICareer** や**株式会社日本M&Aセンター**を活用した人材紹介や後継者不足に対する支援